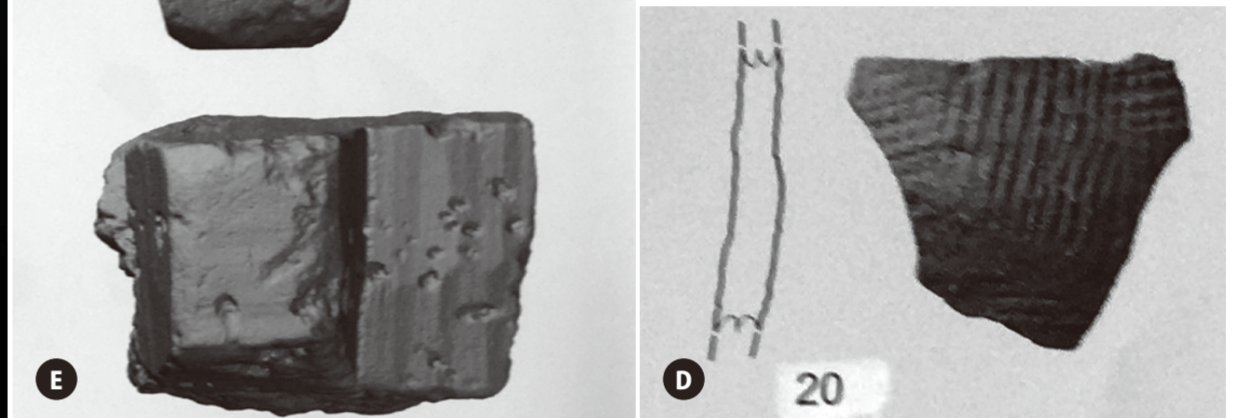
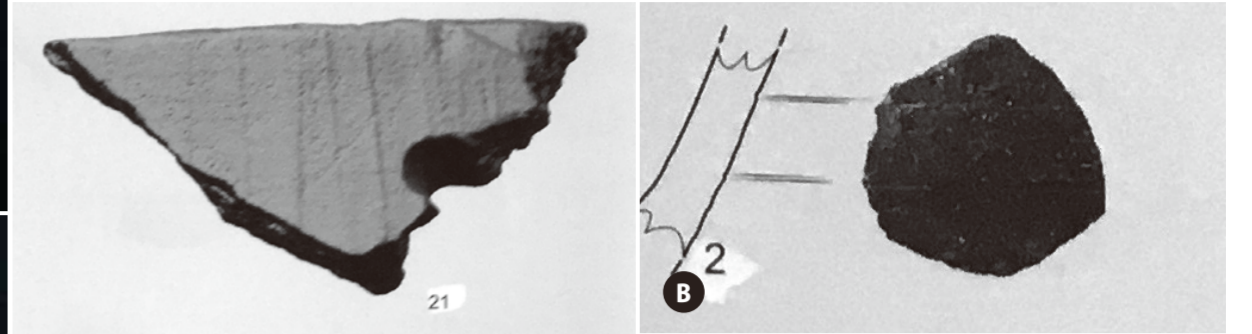
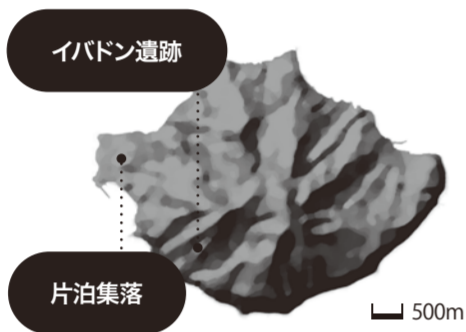




写真は、大里地区で出土した滑石製石鍋（かっせきせいしなべ）。かつて片泊小中学校にも残りの良いものがあったが、現在は所在不明。



9



片泊地区五〇代男性

「年寄りが畑でみつけた珍しい石を、私が石器じゃないかと教えたら本当に石器でした。ここではよくある話です。」

思い出話

近年、イバドン付近の牧場でも「カムイヤキ」や「滑石製石鍋」など中世の遺物が採集された。三島全地区で見つかる滑石製鍋は、平安時代から中世に長崎で作られ沖繩方面へ送られており、当時、三島が本土と沖繩のルート上だったことがわかる。黒島は日宋貿易の痕跡がみつかると、予想以上に人や物や情報の往来があった可能性が高い。

片泊

片泊の遺跡

三島の各地区では昔から遺物の発見はあるが、専門家の調査がなく謎が多い。惜しくも資料が散逸や紛失する例も多い。幸い大里は調査がすすんだが、他の地区も調査すれば新しい発見があるかもしれない。その例に片泊の調査を一部紹介したい。

●片泊集落では縄文時代後期の石器と中世の陶器が採集されている。黒島はこの時代の遺物が多い。なかには奄美群島の徳之島の陶器「カムイヤキ」があった。この陶器は十一〜十四世紀に南西諸島を中心に広く流通しており、当時の交流の様子を示す。

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
			旧 7/25	旧 7/26	旧 7/27	旧 7/28
5	6	7	8	9	10	11
旧 7/29	旧 7/30	旧 8/1	旧 8/2	旧 8/3	旧 8/4	旧 8/5
12	13	14	15	16	17	18
旧 8/6	旧 8/7	旧 8/8	旧 8/9	旧 8/10	旧 8/11	旧 8/12
19	20	21	22	23	24	25
旧 8/13	旧 8/14 敬老の日	旧 8/15	旧 8/16	旧 8/17 秋分の日	旧 8/18	旧 8/19
26	27	28	29	30	1	2
旧 8/20	旧 8/21	旧 8/22	旧 8/23	旧 8/24		